

# 1年学年通信

1月号



例年並みの寒さではないとはいえ、やっと冬らしくなってきました。

みなさんにとって2025年はどのような年だったでしょうか。充実した年だったという人は、今年はさらなる飛躍を。もう少し頑張ればよかったという人は、今年こそは納得できる1年を過ごせるよう自分の生活を見直しましょう。

## ■2026年の計画を立てよう！

クリスマス、年末年始とイベントが続いた冬休みでしたが、充実したものにできたでしょうか？ 充実していた人はその勢いで一気に1年を駆け抜けたところですよ。思うような休みを過ごせなかったという人は、方向転換して走り始めましょう。

そのために大切なのは2026年全体を見据えた計画です。「1年の計は元旦にあり(もう過ぎてますが、まだ大丈夫)」！ しっかりとしたプランを立てて過ごす1年と無計画に過ごす1年とでは大きな差が生まれます。そして、この1年の差は進路にも大きく影響してくるのです。「計画のない目標は願い事にすぎない」と言われます。自分の目標から何が逆算して計画を立て、1年を有意義に過ごしましょう。「目標が見つからない」という人は、まずいろいろなことに触れる1年にしましょう。うまく計画を立てて自分の成長を加速させる年にしたいものですね。



月	火	水	木	金	土	日
1/5	6	7	8	9	10	11
		始業式				
12	13	14	15	16	17	18
成人の日	45分授業	45分授業	45分授業		バネツセ総合 学力テスト 昼食必要 13:40 終了	
19	20	21	22	23	24	25
		45分授業 7 限カット	45分授業	45 分授業 7 限カット	生徒校地内 立ち入り禁止	
26	27	28	29	30	31	2/1
			45分授業	課題研究発表 (6・7 限)	駿台全国模 試(希望者)	
2	3	4	5	6	7	8
		前期生徒会役員 立候補受付				

## 未来を創る人になろう 11/25

11月25日(火)にふるさとで活躍する企業人から社会で求められる人材や資質について学ぶことを目的に、石川企業人インタビューDVDを視聴しました。ダンボールワンの辻俊宏氏とホテル日航金沢の小島久枝氏の仕事に対する視点や顧客への心配りなどに触れました。仕事に対する独自の哲学は進路の検討や仕事に就いた際に大いに参考になるものでした。聞いた話を自分の中で消化して自分の未来に生かしましょう。



## 英語4技能検定 GTEC に挑む 12/6

12月6日(土)に英語4技能検定 GTEC が行われました。Reading・Listening・Writingに加え、前回なかったタブレットやイヤーマフを使った Speaking のテストにも挑戦しました。Speaking は多くの人が初めての経験だったにもかかわらず、はっきりとした声で話し、一生懸命自分の答えをタブレットに吹き込んでいました。スコアは大学入試でも活用できるオフィシャルスコアです。結果が返ってきたらしっかりと振り返りをして、今後の英語学習に役立ててください。



## 模試で学習の方針を明確に 1/17・1/31

1月17日(土)にベネッセ総合学力テスト、1月31日(土)に駿台全国模試(希望者)が行われます。

模試の結果が返却された時に、点数や偏差値だけを見て一喜一憂していませんか? 模試で良い点数を取ると嬉しいと思いますが、点数を取ることよりも大切なのは模試を以後の学習に生かすことです。

試験の解き直しはやっていますか? 実力がアップするということは、分からないことが分かるようになる、できないことができるようになる、ということです。そのためにはテストは格好の「ツール」です。自分がつまずいているところが一目で分かるわけですから。間違いがたくさんあるテストこそ宝の山です。直すべきところ、「何をすればよいか」という情報が詰まっているので、ぜひ解き直しをしましょう。

模試の結果にはさまざまなデータ分析も付いてきますので、それも良い学習の指針になります。

模試や定期試験を活用して2年生への足場を固めましょう。

定期試験や模擬試験の結果を振り返り、自分の糧にしよう



やらなきゃ損!! ~定期試験や模擬試験の解き直し~



定期試験や模試で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。必ず解き直しに取り組みましょう。ただ間違えた問題に取り組みだけでなく、以下の方法を参考にしてみてください。

- ① 今までの定期試験や模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ② 自己採点をする。この時、「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたかどうか」に注意して採点する。
- ③ 「考え方がわかっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ④ 「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの癖」を認識して、もう一度問題を解き直す。